

令和7年度 小江原中学校学力向上プラン

学校教育目標 自ら学び、さわやかで たくましい心身を持つ生徒の育成

「生徒一人ひとりが主体的に学ぶ、学びの芽を育てる」チーム小江原中の取組

認知能力(目にみえる・みえにくい学力)の育成

確かな学力を支える「個別最適な学び」を促進する手立て

①AI教材 Qubena・Terra Talk を活用した主体的な学習の推進

- ・朝のモジュール学習や授業の帯活動といった短時間の継続的な学習の場での利活用
- ・10分間 Qubena Challenge

(生徒一人一人が自分のペースで課題解決に向かう学習に取り組むことにより、基礎的な知識・技能の定着を図る。)

②「読解力」を向上させる学習活動の充実

- ・テキストに書かれた情報を「理解→解釈→熟考」する学習活動
- ・テキストを利用したり、テキストに基づいて自分の意見を論じたりする(話す・書く)学習活動
- ・文章だけでなく、図・表・グラフを読み解く学習活動

確かな学力を支える「協働的な学び」を促進する手立て

①実生活・実社会の課題解決を図る協働的な探究学習

- ・総合的な学習の時間等で、生徒自らが「問い合わせ」し、その解決に向けて生徒同士・生徒と教師・地域人材と共に学びを深める学習活動の充実
- ・「哲学対話」を取り入れた総合的な学習の時間・道徳科の授業を通して「探究思考」の育成

②協働的な学びを支えるコミュニケーション力を向上させる学習活動

- ・SST(Social Skill Training)や SEL(Social and Emotional Learning)による豊かな対人関係を形成するコミュニケーション力の向上と互いを尊重し合う支持的風土の醸成

確かな学力 の3要素

知識・技能
(目にみえる学力)

思考力・判断力
表現力
(目にみえにくい学力)

学びに向かう力
人間力
(目にみえない学力)

非認知能力(目にみえにくい・みえない学力)の育成

確かな学力を支える「自制心」を育む手立て

①授業規律の確立

- ・2分前着席・2分前学習の徹底

②「目標・振り返り・改善」の習慣化

- ・教師と生徒が共に「めあて」と「まとめ」をつかむ授業の確立

③家庭学習の習慣化

- ・10分間 Qubena Challenge

(隙間時間に AI 教材と共に学力向上に励む習慣を身に付ける。)

- ・家庭学習チェック+Plus

(毎朝、家庭学習状況(時間と内容)を振り返り、改善する。)

④基本的生活習慣の確立

- ・家庭学習チェック+Plus

(毎朝、睡眠時間・朝食・メディア利用時間等を振り返り、改善する。)

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化・心と身体の体調管理

- ・Society 5.0 を生きるために適切なメディア利用時間の習慣化

確かな学力を支える「主体性・協働性」を育む手立て

①地域人材との連携・協働によるキャリア・金融経済教育の推進

⇒多様な地域人材の生き方に学び、生徒一人一人が夢・憧れ・志をもち、『なりたい自分』から『なれる自分』を確立するための教育活動を通して主体性・協働性を涵養

②平和・国際理解・人権教育の充実⇒学びを他者貢献・地域社会貢献へ